

(町長提案理由の説明)

本日ここに、令和6年金山町議会第2回定例会を招集しましたところ、議員皆様のご出席を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

今定例会には、令和6年度当初予算案及び諸議案を提案致しました。以下その概要についてご説明致しますが、それに先立ち、町政運営に対する所信の一端を申し上げ、議員各位並びに町民の皆様の御理解と御協力をお願い申し上げる次第であります。

始めに、このたびの令和6年能登半島地震によってお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、ご家族やご関係者、そして被災された全ての皆さまに、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

当町においても義援金の呼びかけや福島県からの要請により2名の職員を富山県氷見市に派遣し、住家被害認定調査業務などに当たらせて参りました。改めて災害の恐ろしさと日頃の備えの重要性を再認識した次第であります。被災地の一日も早い復旧と復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、町内に目を向けますと、今年は、4年ぶりの暖冬で降雪が極端に少ない冬となっております。町民の皆様からは、「雪が少なくて助かる」などの声がある一方で、除雪関係者やスキー場、宿泊業者などからは、憂いを帯びた声が聞こえてまいります。雪が少ないことは、良い面もありますが、町内経済に少なからず影響を及ぼしており、このような状況に対応するため、過日の臨時会において、町道や農業用施設などの維持修繕経費の前倒しを提案させていただき、議決を頂いたところであります。国や町独自の物価高騰対策と併せて対応に努めて参ります。

次に、観光客の誘致についてであります。只見線沿線には、沿線の風景や列車の写真撮影などのため、JRの列車利用客だけでなく、レンタカーや観光バスを利用した多くのインバウンド客が訪れています。

先月の2月22日から26日までの5日間、復興庁の事業を活用した「奥会津金山の魅力発信！台湾プロモーション事業」を実施いたしました。議会議長を始め、議会議員、観光関連団体の皆さまとともに台湾に赴き、只見線を中心とした金山町の風景等の写真展、映画上映、観光関連トップセールスなどを行い、大いに金山町のPRに努めて参りました。訪問先の新北市金山区では、区長を始めとして区職員、温泉観光協会役員、観光関連事業者の方々と交流し、観光振興について多くの意見交換が出来たことは大きな成果であったと思います。このような機会を生かして、日本を訪れる外国人の目的地として、只見線が選ばれるよう、また、我が金山町にお出で頂いて、沼沢湖を始め豊かな自然・風景・温泉・伝統文化などにふれあいながら町内を周遊してもらえよう環境整備に努めて参ります。

次に、令和6年度当初予算の概要について説明申し上げます。予算編成に当たっては、第五次金山町総合計画に基づき当初予算案を策定したところであり、5つの基本目標に沿って概要を説明致します。

まず、「地域力を活かした仕事づくり」についてであります。

農業については、担い手確保が一番の課題となっております。稲作、畑作での生産活動を持続して頂くように、農業経営支援事業、農業用機械購入補助事業、新規就農者育成総合対策事業等を継続し、担い手確保に繋げて参ります。

かすみ草栽培では、今年1月に、JA会津よつばかすみ草部会が、日本農業賞大賞を受賞し出荷額が6億円を超える規模まで拡大しており、奥会津4町村のブランド化が進んで

います。町内でかすみ草栽培に取り組む方は、まだ少数ですが、新たに取り組みたいという方も増えており、かすみ草栽培に対する支援を継続して参ります。

また、新たな支援事業としては、農業を担う者育成支援事業を立ち上げます。これは、50歳以上の方が新たに農業を行う場合に支援を行うもので、一定規模の経営を目指す方を支援し、最終的には、農業の一端を担う認定農業者などに成長して頂きたいと考えております。

空冷堰改修事業については、来年度に設計業務を完了させ、令和7年度から工事を行う予定です。この事業は、空冷堰の遠隔操作を可能にし、水路に土砂が入り込む被害を軽減する事業となります。

有害鳥獣については、ここ2～3年、捕獲頭数が徐々に増加傾向にあります。サルやイノシシの被害も増えておりますので、放任果樹の撤去や電気柵の設置など有害鳥獣対策についての啓蒙と普及に努めるほか、緩衝帯の設置、森林環境譲与税や交付金を活用した保育間伐や里山森林整備事業などを実施し、集落周辺の景観整備を行いながら有害鳥獣の被害防止につなげて参ります。

商工業の振興については、町民の生活支援と消費の拡大、町内経済活性化に資するため、引き続き、妖精の里商品券を25%プレミアム付で発行することと致しました。

また、新たに、おもてなし支援事業として宿泊・飲食・小売業等を営む方の施設の魅力アップを支援する取り組みを行います。宿泊施設や飲食店を新規に始める方はもちろん、増改築・改修を行う方に対しても支援を行い、金山町をより魅力的な観光地として、町内への誘客と消費拡大を目指して参ります。

観光事業は、2次交通対策としての観光タクシー事業、レンタサイクル、レンタカー事業について、情報発信方法や利用方法の改善などに取り組み、当町を訪れる観光客への利便性の向上に繋げて参ります。

会津川口駅窓口業務については、会津川口駅の無人化に対応するため、町がJR東日本から乗車券類の簡易発売業務を受託し、町民の利便性の向上、JR只見線及び会津川口駅の魅力向上のため、年間を通して、切符販売を行う窓口を設置したいと考えております。

次に、「穏やかでいきいきとした暮らしづくり」についてであります。

まず、除雪対策事業ですが、今年度まで高齢者の除排雪支援として「除雪支援員事業」に取り組んで参りましたが、社会福祉協議会で行っている除雪作業員の派遣等を行う除雪対策事業と1本化し、わかりやすく利用しやすい事業に組み立て直します。

保健福祉の分野では、「人間ドック事業」や「各種検診事業」を継続し、健康長寿のまちづくりのため、それぞれの施策を従来通り実施して参ります。新たに、予防接種事業の一つとして带状疱疹ワクチン助成事業を始めるほか、今年度から始めた高齢者居宅生活支援事業、難聴者補聴器購入支援事業の周知と啓発に努め、健康長寿のまちづくりに取り組みます。

中川地区農村公園整備事業については、整備箇所を「道の駅奥会津かねやま」の隣接箇所、奥会津水力館「みお里」の前とし、用地確保の見通しが立ちましたので、来年度、敷地造成を行い整備を進めて参ります。

子育て支援については、昨年度から実施しております3歳児までの乳幼児紙おむつ等購入費助成事業を始め、家庭における生活の安定と子供の健全な育成に向け、保育支援を引き続き実施して参ります。

次に「自然と共生し郷土を愛するひとづくり」についてであります。

小学校の統合については、昨年9月議会で議決頂きました。その後、統合準備委員会を設置し令和7年4月開校に向けて協議を進めております。学校のビジョンなどの項目について現在協議中ではありますが、機会ある毎に状況をお知らせし、統合後の校舎となる現在の金山小学校の環境整備などハード事業についても進めて参りますのでご理解を頂きたいと思います。

地域一体ふるさと教育事業についてですが、コロナ禍の影響で思うような事業が実施できませんでしたが、地域みらい留学事業等により、県立川口高等学校への入学者が増加傾向にあるなど一定の成果がみられております。来年度は、5年目という区切りの年ではありますが、今後も事業を継続して参ります。

県立川口高等学校については、現在、相当数の入学希望者が予定されています。合格者発表前ですので具体的な人数等は決定しておりませんが、これに伴って、県の寮が再開される見通しであり、今後の運用の方法・費用負担等について、県と協力・連携を図りながら協議を進めて参ります。

中丸城跡遊歩道整備事業については、今年度、遊歩道の工事が完了し、来年度は、ベンチなどの付帯工事や駐車場整備を行います。町指定重要文化財である中丸城跡に遊歩道を整備し、郷土の歴史・文化を町民だけでなく、町出身者や観光客など様々な方に伝え、興味をもってもらうための取り組みを進めて参ります。

県指定重要文化財の旧五十島家住宅の屋根吹替工事については、今年度予算を計上しましたが、職人不足と資材費の高騰により入札が不調に終わりましたので、来年度仕切り直しにより事業を実施致します。

自然教育村会館活用・活性化事業については、自然教育村会館を奥会津7町村による「奥会津ミュージアム」活動の金山町の拠点として、整備・活用を進めます。来年度においては、「金山町エコミュージアム活動計画」を策定し、実験的活用事業に取り組みながら効果的な活用・運営の在り方を住民の皆様と一緒に検討していく予定であります。

次に、「安全・安心・快適なまちづくり」についてであります。

今年度、全集落をカバーするWi-Fi環境を整備する予定でありましたが、完成を来年度に延期せざるを得ない状況となりました。現在のところ運用開始時期は未定であります。町内のWi-Fi環境を整備し、情報伝達手段の多種多様化と情報の共有、通信環境の改善による生活利便性の向上を目指して参ります。

町道整備については、町道川口太郎布線の改良工事を行います。この工事は、川口上野原地区からJR只見線の絶景写真撮影ポイント、通称尻吹峠までの舗装を行うもので、近年、訪問者が多く危険な箇所があるため安全対策を兼ねて行うものです。

町道中川大栗山線については、今年度で県代行工事分が完成いたします。町施行分として来年度からの2か年計画で舗装工事を実施し開通させる予定です。

次に、「参画と共同で共につくるまちづくり」についてであります。

集落の維持、高齢者の猛暑対策のため、地区コミュニティの拠点となっている各地区の集会所を対象としてエアコン設置に対する補助を行います。

以上、来年度の主要な施策などについて申し上げます。